

ストリングマシン取扱説明書

この度は当社のストリングマシンのお買い上げ有難うございます。
この説明書には本体の組み立てからご使用方法まで記載されております。
ご使用前に必ずこの説明書をよく読み、マシン組み立てから操作方法まで
間違いのないよう正しくご使用頂けますようお願いいたします。
お読みになった後も大切に保管してください。



アプローチ

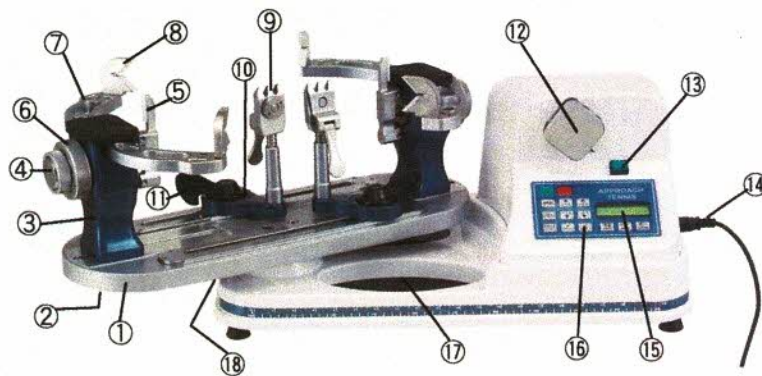
カスタムストリングマシン

(MCモデル / ICモデル)

株式会社アプローチ

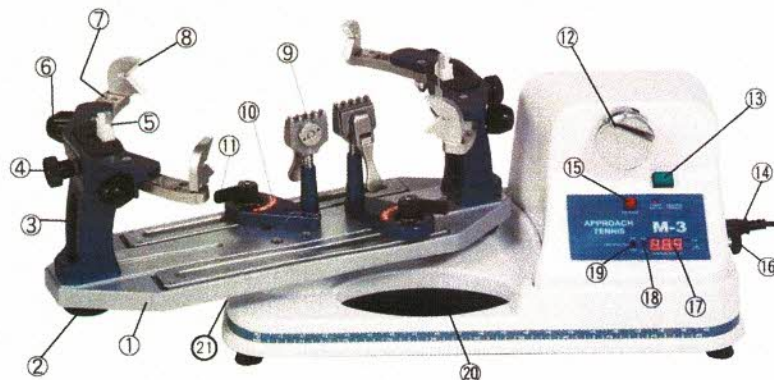
■MCモデルマシンの各パーツ部の名称

- ①ターンテーブル ②マウンティングポストノブ ③マウンティングポスト
- ④センターサポートノブ ⑤センターサポート (3点アタッチメント)
- ⑥サイドサポートノブ ⑦サイドサポートアーム ⑧チキンマウスサイドサポート
- ⑨クランプ ⑩クランプベース ⑪クランプベースレバー
- ⑫テンションヘッド (グリッパー) ⑬テンションスイッチ ⑭電源コード
- ⑮テンション表示パネル ⑯操作パネル ⑰工具置き
- ⑱ターンテーブルロックングスクリュー



■I Cモデルマシンの各パーツ部の名称

- ①ターンテーブル ②マウンティングポストノブ ③マウンティングポスト
- ④センターサポートノブ ⑤センターサポート (3点アタッチメント)
- ⑥サイドサポートノブ ⑦サイドサポートアーム ⑧チキンマウスサイドサポート
- ⑨クランプ ⑩クランプベース ⑪クランプベースレバー
- ⑫テンションヘッド (グリッパー) ⑬テンションスイッチ ⑭電源コード
- ⑮リバーススイッチ ⑯テンション調節ノブ ⑰テンション表示パネル
- ⑱Kg・lbs (ポンド) 切り替えスイッチ ⑲プレストレッチスイッチ
- ⑳工具置き ㉑ターンテーブルロックングスクリュー



■箱の中身を確認してください

■マシン本体 (ベース)・カラー



モデル () / カラー ()

■グripper



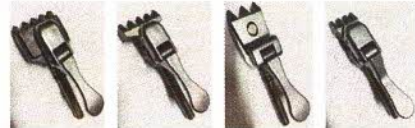
○ドラム式 / ○リニア式

■ターンテーブル



- 6点サポート式テーブル
- ビリヤード式テーブル
- ビリヤード式テーブル (ワンアクション仕様)

■クランプ



- 5本爪クランプ
- スリム型5本爪クランプ
- 3本爪クランプ
- バドミントン用4本爪クランプ

○工具セット・その他部品 (テニス仕様)



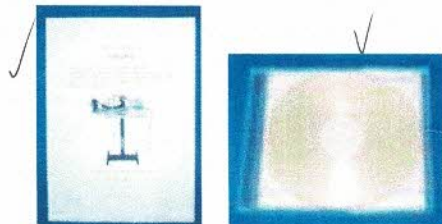
- 工具セット+電源コード (ニッパー・プライヤー・メウチ・工具)
- チキンマウスサイドサポート
- バドミントン用センターアタッチメント
- 調整用工具 (ワンアクションクランプ仕様のみ)

○工具セット・その他部品 (バドミントン仕様)



- 工具セット+電源コード (ニッパー・プライヤー・メウチ・工具)
- バドミントン用サイドサポート×4個
- くし型アタッチメント×2個
- 調整用工具 (ワンアクションクランプ仕様のみ)

■説明書・張り方DVD

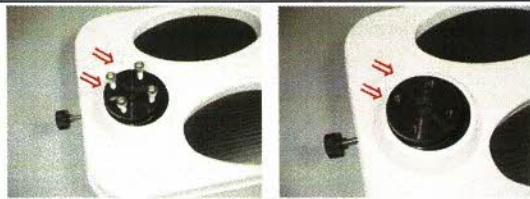


- 張り方DVDは「テニス用」「バドミントン用」のうち、ご希望の種類が同封されております。

■スタンドセット (オプション品)

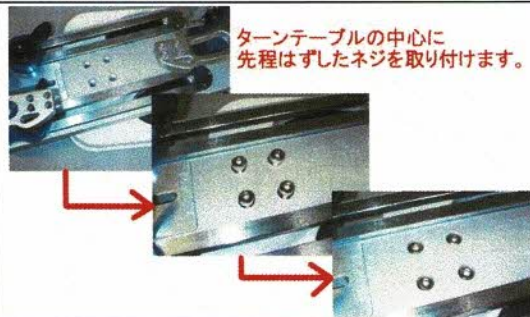


■本体の組み立て（共通）



マシン本体ターンテーブル接続部分の
4本のネジを全て取り除いてください！

マシン本体のターンテーブル接続部分にある、4本のネジを全て取り外してください。



ターンテーブルの中心に
先程はずしたネジを取り付けます。

ターンテーブルの中心部分の4つの穴に本体のターンテーブル接続部分を合わせてネジを締めていきます。このときに、全てのねじを少しずつ均等に締めていってください。



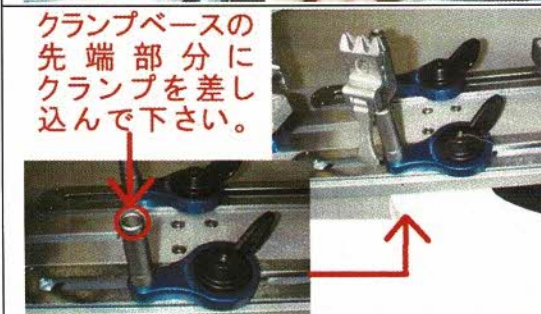
この位置に
セットしてください

テニスラケットの場合はチキンマウスサイドサポートを左写真の位置にセットしてください。



この位置に
セットしてください

バドミントンラケットの場合はチキンマウスサイドサポートを左写真の位置にセットしてください。



クランプベースの
先端部分に
クランプを差し
込んで下さい。

クランプをクランプベースに差込みセットしてください。

組み立ては以上で終了です。

■ラケットのセット (ビリヤード式テーブル)

	<p>ラケットフェイスの大きさに合わせてマウンティングポストを移動させ、しっかりと固定します。</p> <p>マウンティングポストはターンテーブル下部のノブを緩めますと移動できます。</p>
 <p>3点アタッチメント</p> <p>3点アタッチメントがラケットのヘッド・スロート部中心位置に来るようにセットしてください。</p>	<p>マウンティングポストセンター部分にある「3点アタッチメント」をラケットのヘッド部・スロート部の中心に合わせてます。</p> <p>このときはまだ、フレームに添えている程度で結構です。締めすぎに注意！</p>
 <p>ポスト外側にある大型円盤の内側を回して、サイドアームをフレームに当たるまで移動します。</p>	<p>マウンティングポスト外側にある大型円盤の内側を回して、サイドアームをフレームに当たるまで移動していきます。</p> <p>※ラケットの中心位置がずれていないか再度確認してください。</p>
 <p>ポスト外側にある大型円盤の内側を回して、サイドアームをフレームに当たるまで移動します。</p>	<p>スロート部もマウンティングポスト外側にある大型円盤の内側を回して、サイドアームをフレームに当たるまで移動していきます。</p> <p>※ラケットの中心位置がずれていないか再度確認してください。</p>
 <p>3点アタッチメントとサイドサポートを確認！</p> <p>ぐらつきなければセット完了です！</p>	<p>「フレームサイド」・「3点アタッチメント」がフレームをしっかりと固定しているか再度確認してください。</p> <p>※「フレームサイド」・「3点アタッチメント」共に指でつかみ左右へ揺らしてぐらつきがなければ問題ありません。締めすぎに注意！</p>
	<p>以上でラケットのセッティングは完了です。</p> <p>※上手くセッティングできない等ご不明な点は当社までお問い合わせ下さいませ。</p>

■ラケットのセット (6点式テーブル)

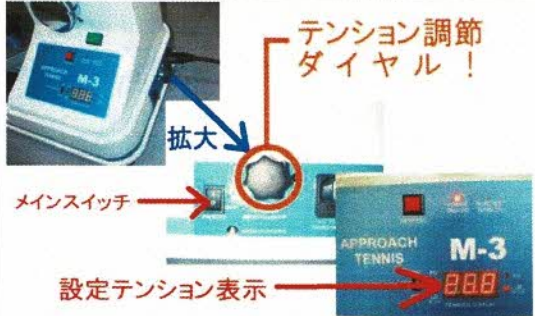


 <p>マウンティングポストを移動してラケットの面の大きさに合わせます。</p>  <p>ターンテーブル下にある、この黒いノブを回してマウンティングポストを移動・固定が出来ます</p> 	<p>ラケットフェイスの大きさに合わせてマウンティングポストを移動させ、しっかりと固定します。</p> <p>マウンティングポストはターンテーブル下部分の黒いノブを緩めますと移動できます。</p>
 <p>3点アタッチメント</p>  <p>3点アタッチメントがラケットのヘッド・スロート部中心位置に来るようにセットしてください！</p>	<p>マウンティングポストセンター部分にある「3点アタッチメント」をラケットのヘッド部・スロート部の中心に合わせて。</p> <p>このときはまだ、フレームに添えている程度で結構です。締めすぎに注意！</p>
 <p>黒のサイドアームノブをサイドサポートがフレームに当たるまで回してください！</p>  <p>閉めていくとサイドサポートの中心位置にフレームがきます。左右均等にフレームを固定！</p>	<p>ヘッド部のサイドアームをラケットの外側を支えるように黒のノブを締めていき左右均等の位置で固定してください。</p> <p>※ラケットの中心位置がずれていないか再度確認してください。</p>
 <p>黒のサイドアームノブをサイドサポートがフレームに当たるまで回してください！</p>  <p>閉めていくとサイドサポートの中心位置にフレームがきます。左右均等にフレームを固定！</p>	<p>スロート部もサイドアームをラケットの外側を支えるように黒のノブを締めていき左右均等の位置で固定してください。</p> <p>※ラケットの中心位置がずれていないか再度確認してください。</p>
<p>3点アタッチメントとサイドサポートを確認！</p>   <p>ぐらつきがなければセット完了です！</p>	<p>「フレームサイド」・「3点アタッチメント」がフレームをしっかりと固定しているか再度確認してください。</p> <p>※「フレームサイド」・「3点アタッチメント」共に指でつかみ左右へ揺らしてぐらつきがなければ問題ありません。締めすぎに注意！</p>
	<p>以上でラケットのセッティングは完了です。</p> <p>※上手くセッティングできない等ご不明な点は当社までお問い合わせ下さいませ。</p>

■MCモデル操作パネル説明

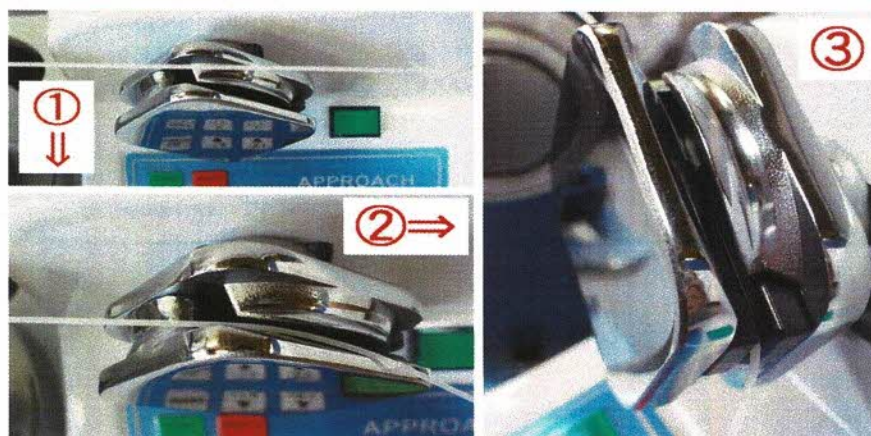
<p>①リバーススイッチ ②スタートスイッチ ③スピード切り替えスイッチ ④プレストレッチ切り替えスイッチ ⑤「KG・LB」切り替えスイッチ ⑥メモリースイッチ ⑦クリアスイッチ ⑧テンションスイッチ ⑨「1.0」テンション変更スイッチ ⑩「0.1」テンション変更スイッチ ⑪ディスプレイ表示 ⑫クロステンションスイッチ ⑬メンテナンススイッチ ⑭ノットスイッチ</p>	
<p>② START スタート ① REBIRTH リバース</p>	<p>① リバーススイッチ グリッパーを反時計回りに回します。</p> <p>② スタートスイッチ グリッパーを時計回りに回しガットを引くことができます。</p>
<p>SPEED</p> <p>③ L 0 Main 57.0Lbs ③ M 0 Main 57.0Lbs ③ H 0 Main 57.0Lbs</p>	<p>③ スピード切り替えスイッチ グリッパーの回転する速度を「LOW・MID・HIGHT」スピードの3段階の速さに調節可能です。 スピードは赤丸部分に表示されます</p>
<p>PRE-STRETCH</p> <p>④ M 0 Main 57.0Lbs ④ M 1 Main 57.0Lbs ④ M 2 Main 57.0Lbs</p>	<p>④ プレストレッチ切り替えスイッチ ガットを引く際機械が2度引きをしてガットの仕上がりを引き締める機能です。 「0・10・20%」の3段階切り替え可能。 プレストレッチは赤丸部分に表示されます</p>
<p>KG/LB キロ/ポンド</p> <p>M 0 Main 57.0Lbs M 2 Main 25.0Kg</p>	<p>⑤ 「KG・LB」切り替えスイッチ ガットを引く際の単位をこのスイッチで切り替えることができます。日本では「LB (ポンド)」表記が一般的です。</p>
<p>M メモリー ⑥</p> <p>C クリアー ⑦</p>	<p>⑥ メモリースイッチ 初期設定などに使用します。</p> <p>⑦ クリアースイッチ 初期設定などに使用します。 両方ともメンテナンス用です。</p>

	<p>⑧ テンションスイッチ このスイッチでリニア式グリッパーを時計回り・反時計回りに動作させることができます。</p>
	<p>⑨ 「+/-1.0」テンション調整スイッチ 1.0ポンドポンド単位でテンションを設定・調節することができます。</p>
	<p>⑩ 「+/-0.1」テンション調整スイッチ 0.1ポンド単位でテンションを設定・調節することができます</p>
	<p>⑪ ディスプレイ表示パネル 設定した内容を表示・確認できます。</p>
	<p>⑫ クロステンション切り替えスイッチ 設定しておいたテンションにワンタッチでセットすることができます</p>
	<p>⑬ メインテンション切り替えスイッチ 設定しておいたテンションにワンタッチでセットすることができます</p>
	<p>⑭ ノットテンション切り替えスイッチ ワンタッチで10%アップのテンションにセットすることができます</p>

■ I Cモデル操作パネル説明

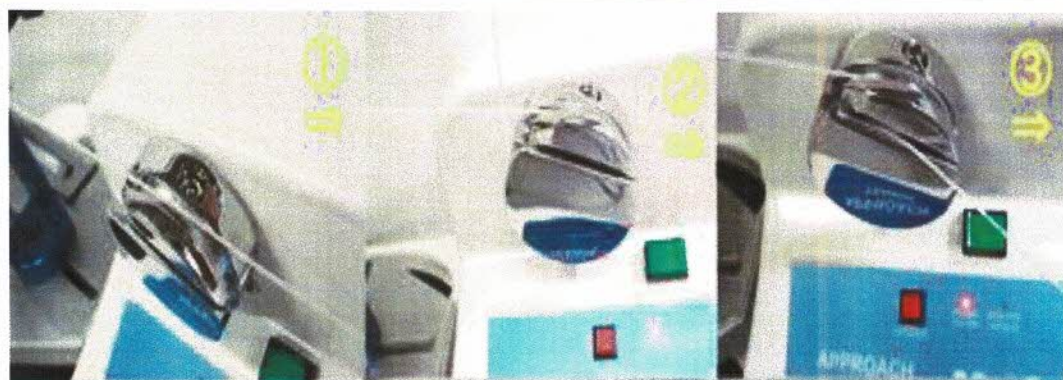
 <p>テンション調節ダイヤル！</p> <p>拡大</p> <p>メインスイッチ</p> <p>設定テンション表示</p>	<p>テンションのセットは本体右横の黒いダイヤルを回して行います。</p> <p>テンション調節ダイヤルを回して、設定希望の数値にデジタル表示を合わせます。</p>
 <p>スイッチひとつで「kg」と「lbs(ポンド)」を切り替えることができます。</p> <p>※日本では一般的に「ポンド」数値</p>	<p>ワンタッチで「kg」と「lbs (ポンド)」の数値に変更が出来ます。</p> <p>日本では「lbs (ポンド)」が一般的です。</p> <p>(注) スイッチの切り替えに気付かず張り上げますとフレームが破損する場合がございます。必ず確認をしてください。</p>
<p><u>プレストレッチ機能スイッチ</u></p> 	<p>この「プレストレッチ機能スイッチ」を「ON」にすると、ストリングを引く際に、機械が自動で2度引きをします。</p> <p>1回目は、設定テンションより「10%」アップで引き、2度目に設定テンションで引きます。初期のガットの緩みが気になる方にはお勧めの機能です</p>

■グリッパーへのセット方法（リニア式グリッパー）



- ①グリッパーの上からガットを掛けます。
- ②黒い2枚の板（チャッカー）の間にガットを通します。
- ③ガットを手前に少し引くとチャッカーがスライドし隙間が狭くなり、ガットを挟み込みます。グリッパーへのセットが完了です。

■グリッパーへのセット方法（ドラム式グリッパー）



- ①グリッパーの上からガットを通して溝に沿って巻いていきます。
- ②グリッパーの外周の溝に沿って1周巻き付けます。
- ③ガットをスリット部分の間に通して挟むようにセットします。
セットした状態でガットを下に引くとグリッパーの上部が下がりガットを挟み込みます。
グリッパーへのセットが完了です。

■テンションの掛け方 (MCモデル)

「0.1」ポンド単位でガットの伸びを感知し
テンションを調節しながら引き続けます！



グリップへガットをセットしたままテンションスイッチを押せばガットを引くことが出来ます。

※0.1ポンド単位でガットの伸びを感知しますので、グリップが少しずつ感知して動いています。



もう一度、テンションスイッチを押せばグリップは反回転してガットを開放します。これを繰り返してガットを張ってください。

■テンションの掛け方 (ICモデル)




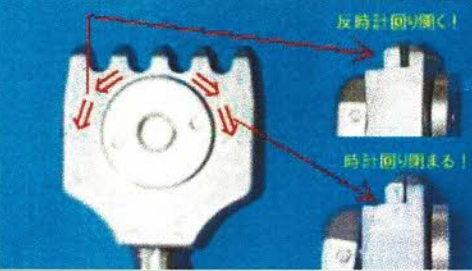
グリップにガットをセットしたままテンションスイッチを押すとガットにテンションが掛かります。

この時スイッチ下のランプがグリーンになれば設定テンションに到達した合図です。

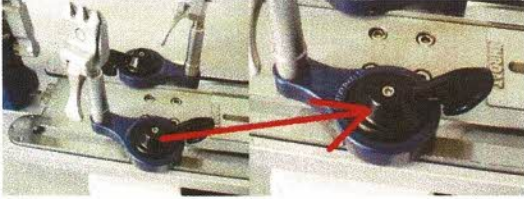
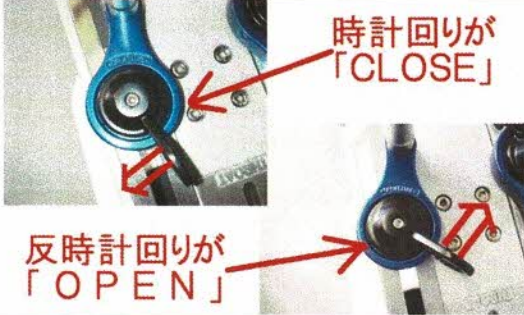


⑤もう一度、テンションスイッチを押せばグリップは反回転してガットを開放します。この繰り返してガットを張っていきましょう。

■ クランプの調整・使い方 (共通)

 <p>レバーを開くと爪部分が開きガットを通す事が出来ます。</p> <p>レバーを閉めると爪部分が閉まりガットを挟むことが出来ます。</p>	<p>レバーを上げると爪部分が広がり、ガットを通すことができます。</p> <p>レバーを下げると爪部分が狭まり、ガットを挟むことができます。</p>
 <p>反時計回り開く!</p> <p>時計回り閉まる!</p>	<p>クランプ本体の裏にあるつまみを回してガットの締め具合を調節できます。</p> <p>ガットの締め具合が緩いと張っている最中に滑りガットが傷つきますので、締め具合には注意してください。</p>

■ クランプベース・クランプベースレバーの使い方 (共通)

 <p>クランプベースを移動するにはベースレバーを使用します。</p>	<p>クランプベースは、クランプベースレバーを使い、動きを固定することが出来ます。</p>
 <p>時計回りが「CLOSE」</p> <p>反時計回りが「OPEN」</p>	<p>クランプベースレバーを「OPEN」の側へ緩めるとクランプベースの移動ができます。</p> <p>クランプベースレバーを「CLOSE」の側へ締めるとクランプベースの固定が出来ます。</p>

<メンテナンス>

■クランプのメンテナンス (共通)

クランプの爪内側部分を古くなった歯ブラシなどを使用し、エタノール等を使って汚れを落としてください。このときに油膜の付くようなものは使用しないで下さい。

		
<p>ダイヤルを回してクランプを分解します。</p>	<p>歯ブラシを使いクランプの爪に付いた汚れと油膜を擦り落とします。</p>	<p>クランプレバーに接触する部分にグリスを塗ります。</p>
		
<p>ダイヤルのネジ内側部分にグリスを塗ります。</p>	<p>本体のダイヤルに接触する部分にグリスを塗ります。</p>	<p>分解したクランプを組み立てて、余分なグリス・油膜をふき取って完成です。</p>

■ 保障期間

保障期間は商品購入日から1年になっております。ただし、間違った使用、乱用、製品の変更、及び使用マニュアルに記載している以外での使用による機械の故障・損傷の場合は保障の範囲に含みません。

■ 故障・修理に関するお問い合わせ

修理・点検・メンテナンスなどは当社専門の技術スタッフが行っております。修理はご来店・もしくはお送りしていただいております。事前に当社までご連絡いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>-----

■アプローチ大阪店■

〒534-0024 大阪府大阪市都島区東野田町1-5-1/TEL:06-6358-8817

■アプローチ京都店■

〒612-8386 京都府京都市伏見区下鳥羽澁女町126/TEL:075-602-0789

■アプローチ埼玉店■

〒365-0062 埼玉県鴻巣市箕田1833-1/TEL:048-501-8477

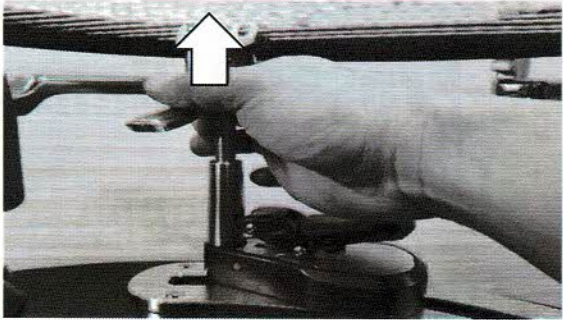
Down-Pressed Clamp Base

下壓式夾座

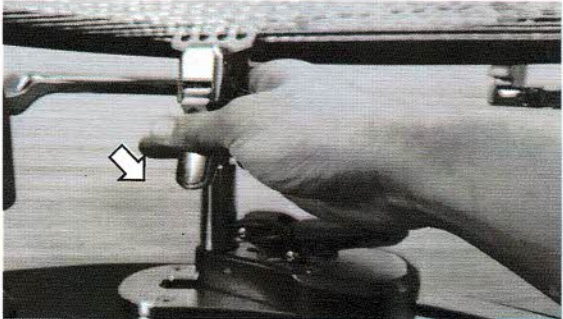


Down-Pressed Clamp Base Operation

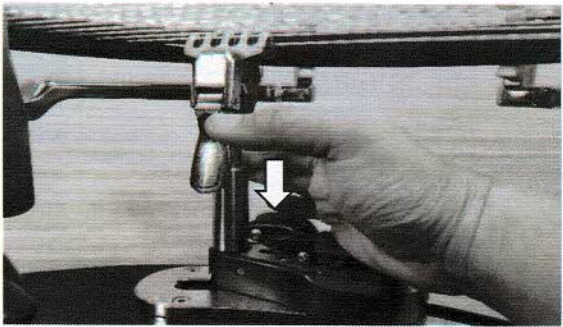
To Lock



1. Raise the clamp to desired place



2. Lock the clamp by pressing handle



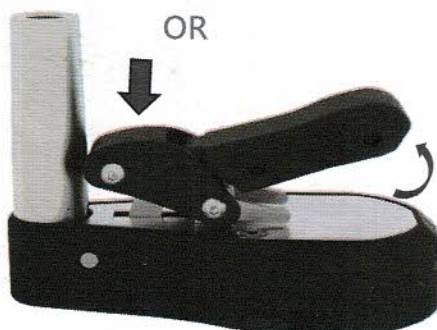
3. Use palm to press down the lever

Down-Pressed Clamp Base Operation

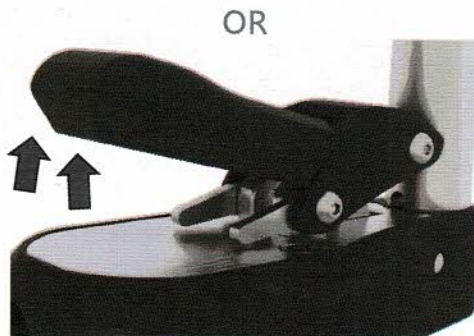
To Release



1. Drop the clamp into the tube



2. Press releasing button

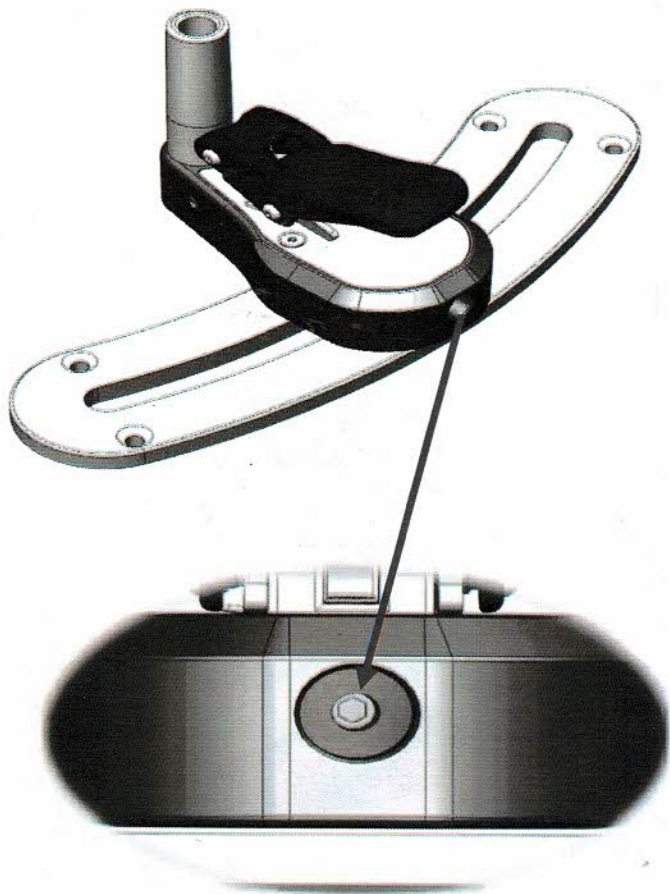


3. Simply lift the lever

Clamp Base Maintenance and Adjustment

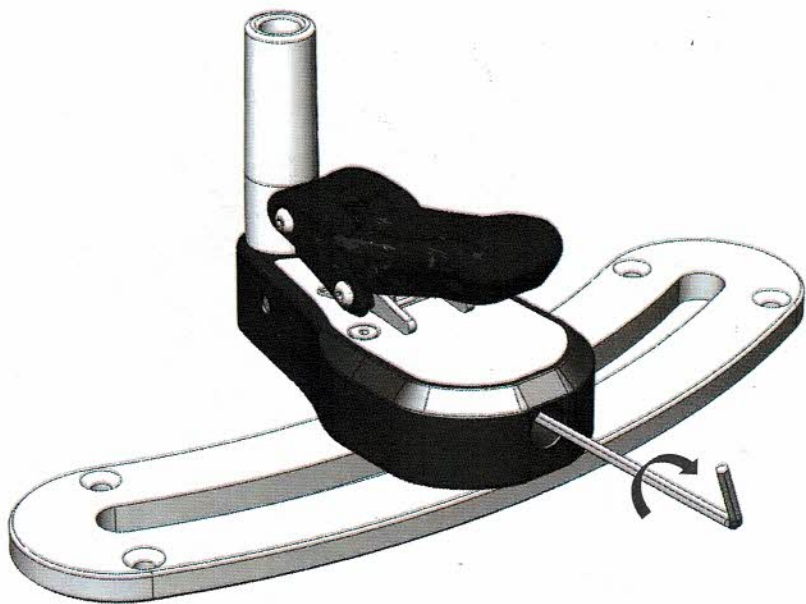
- **To adjust locked-up tightness due to clamp base slippage**

1. Turn the clamp base to appropriate angle where you can spot the adjustment screw from the rear end of clamp base.



2. Use a 3mm hex-wrench, be sure to insert all the way to engage the adjustment screw, turn clockwise to gain more locked-up tightness; counter-clockwise to loosen.

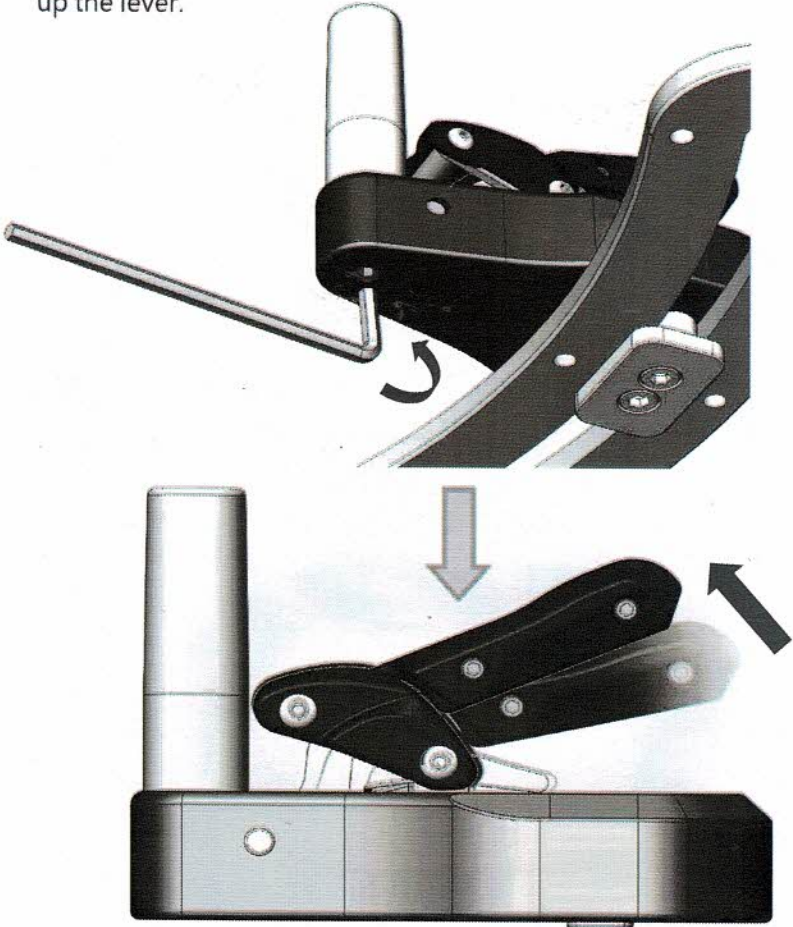
(※ Make as little as $\frac{1}{4}$ turn each time and press the lever to test result.)



- **Lever pops up too easily / won't securely locked-up.**

If experience the lever pops itself up or won't securely locked-up, consider the following tweak.

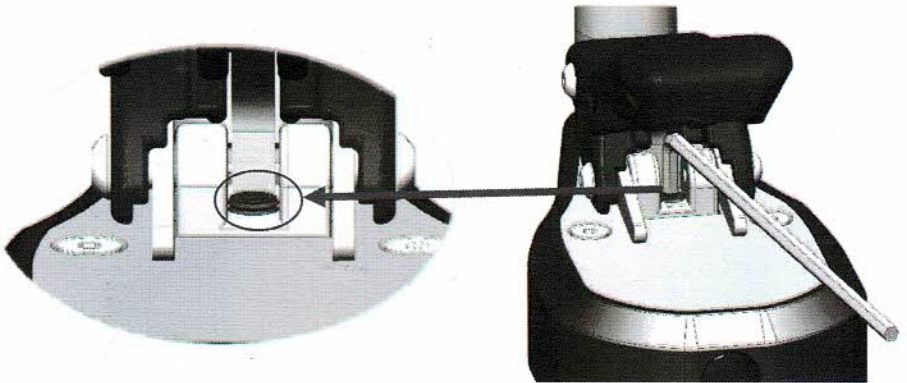
1. Locate the screw below the tube. (as shown)
2. Use a 4mm hex-wrench and turn the screw counter-clockwise to raise up the lever.



3. Use a 3mm hex-wrench to adjust the screw as shown.

Note: The more of screw sticking out, the lever will be popped up more easily. The more of screw sunk in, the lever will require more force to be popped up. As the result, if the lever pops itself up or won't securely locked-up, try sunk in the screw a bit.

If the lever is too hard to pop up, try raise the screw a bit.



4. After finding the optimum result, tighten up the screw below the tube (as step one) to lower the lever to the appropriate height.

